

## 平成30年度 関東・東海地域水稻除草剤試験中間現地検討会報告

長野県農業試験場 上原泰

平成30年7月3、4日、平成30年度 関東・東海地域水稻除草剤試験中間現地検討会が長野県において開催され、各県および農薬会社担当者等 82 名が参加した。

最初に上田市の日植調長野試験地を視察した(写真-1)。長野試験地は中澤伸夫氏が平成29年度から試験を開始し、今年度は11 薬剤が供試されていた。薬害が明確に確認できる試験区もあり、波板の区画補強、入水口の工夫など、中澤氏の永年の経験が垣間見えた。

次に須坂市の長野県農業試験場を視察した(写真-2)。長野県農業試験場では、適2試験として、A1、A2、A4(雑草イネ、シズイは原村試験地で実施)、B1の試験を行っている。合計16 剤供試のほ場を参加者が観察し、担当職員と熱心に意見交換する姿が見受けられた。

視察を終えて、長野市松代町に移動し、情報交換

会を行った。長野県ご出身の宮下理事長のあいさつで始まり、次年度の開催県である埼玉県農業技術研究センターの方からもあいさつを頂いた。その後は夜遅くまで、水稻除草剤試験の課題など、多くの情報交換が行われた。

2日目の検討会は、関東支部長が総合司会を務め、水稻除草剤適2試験中間成績の検討は、農研機構中央農業研究センター内野専門員の司会で行われた(写真-3)。試験結果は概ね良好であった。

また、「長野県における適2試験と難防除雑草対策」として、長野県農業試験場青木政晴主任研究員が話題提供を行った。本県における雑草イネ、シズイなどの水田難防除雑草のA4試験の開設および運営にあたり、協会や農薬会社各位の協力、連携のもと、試験を実施してきた経過や今後の課題について報告した。この会を企画された大嶋関東支部長、ご参加された皆さんに心から感謝申し上げます。



写真-1 日植調長野試験地の試験ほ場



写真-2 長野県農業試験場の試験ほ場



写真-3 水稻除草剤適2試験成績検討会場